

大会名	第72回関東高等学校男子バスケットボール選手権大会				チーム名	1Q	2Q	3Q	4Q	延長	合計
期 日	H30.6.3	会 場	TKOいちごアリーナ	試合No.	取 手 第 二	19	25	24	22		90
審 判	(主) 佐田 幸一	(副) 小澤 朋克	梶 崇司	B 1	市 立 船 橋	26	18	22	15		81

茨城県立取手第二高等学校(茨城)

コーチ 佐藤 豊文 A・コーチ 山口 淳一 マネジャー

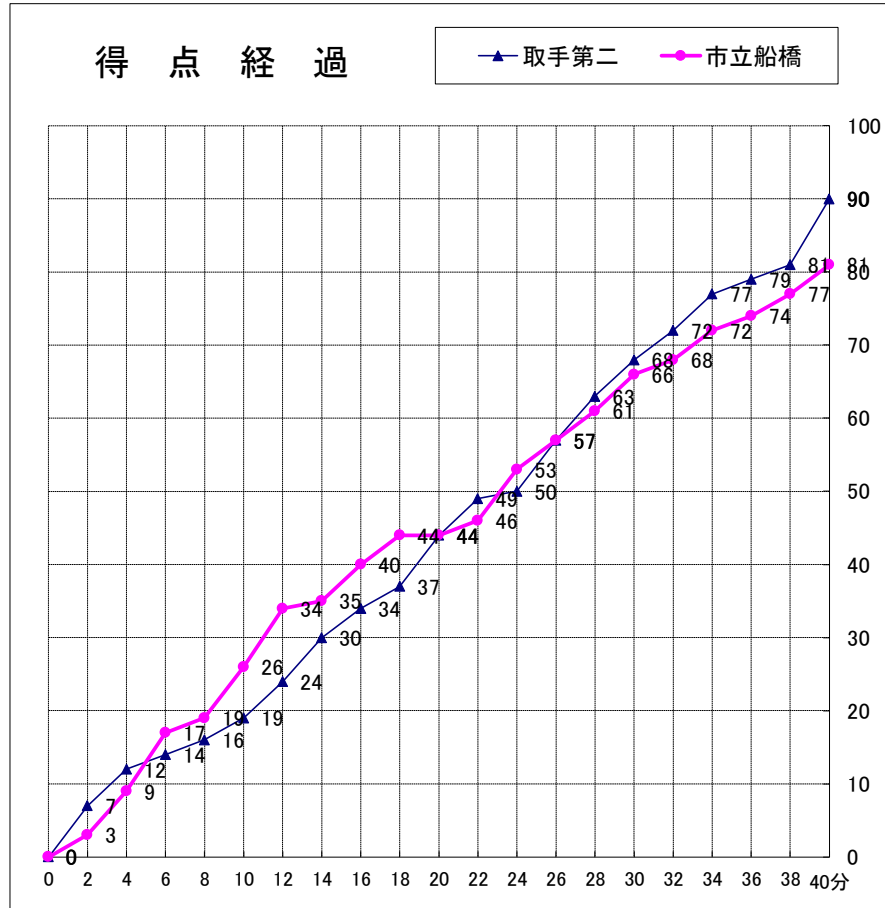
選手名	背番号	得点	3ポイント		2ポイント		フリースロー		ファウル	リバウンド		
			成功	試投	成功	試投	成功	試投		OF	DF	合計
田中 辰弥	4	14	1	3	5	11	1	2	1	0	1	1
山田 康祐	5											
中川 祥一郎	6	25	3	10	3	9	10	12	2	0	8	8
宇留嶋 晴哉	7											
坪田 麗	8											
古沢 斗真	9	0	0	0	0	0	0	0	3	1	1	2
宮内 郁人	10	21	3	6	4	8	4	7	1	0	7	7
佐野 豊	11	18	2	8	4	8	4	7	3	1	6	7
小林 遼	12	10	0	0	5	10	0	1	1	1	3	4
鈴木 勇衣	13	2	0	0	0	0	2	2	1	0	1	1
濱野 敦	14											
田村 佑人	15											
野島 海	16											
石黒 亮平	17											
斉藤 巳由宇	18											
チ ャ ム									0	1	9	10
合 計		90	9	27	21	46	21	31	12	4	36	40
		成功率	33.3%		45.7%		67.7%					

船橋市立船橋高等学校(千葉)

コーチ 斉藤 智海 A・コーチ 井上 知徳 マネジャー 中川 拓海

選手名	背番号	得点	3ポイント		2ポイント		フリースロー		ファウル	リバウンド		
			成功	試投	成功	試投	成功	試投		OF	DF	合計
薬丸 侑平	4	8	1	10	2	5	1	2	1	2	2	4
兼重 パトリック	5											
永野 雄大	6											
大澤 響生	7	21	5	13	3	9	0	0	3	1	4	5
大川 颯斗	8	24	4	15	6	10	0	0	4	2	9	11
碓氷 真吾	9	4	0	0	2	6	0	1	3	2	7	9
衛藤 崇	10											
佐藤 健人	11	2	0	1	1	1	0	0	3	0	1	1
佐藤 伊織	12											
樋口 陸	13											
三上 颯斗	14											
楊 博	15	12	0	0	4	8	4	7	5	7	5	12
和田 将英	16	10	1	6	3	11	1	4	5	6	3	9
田中 晴瑛	17											
下川 拓海	18											
チ ャ ム									0	3	0	3
合 計		81	11	45	21	50	6	14	24	23	31	54
		成功率	24.4%		42.0%		42.9%					

得点経過



戦評

準決勝、茨城の取手第二と千葉の市立船橋の対決。先制は取手第二の#11佐藤。その後市立船橋も#8大川のジャンパーで反撃。両チームとも激しいディフェンスを掻き落り、良い立ち上がりを見せるも、第1ピリオドは市立船橋が7点リードの19-26で終了した。

続く第2ピリオド。市立船橋の#8大川や#7大澤が厳しいチェックを受けながらも3Pを沈める。対する取手第二も#10宮内のバスカンや#11佐野の3Pなどで反撃。このピリオドも点の取り合いになるが、激しいディフェンスによって取手第二が徐々に差を縮めていく。そして前半終了間際、市立船橋の#9碓氷がオフェンスファウルをコールされて取手第二ボールになり、その後のオフェンスで#6中川が3Pを沈めて同点に持ち込む。44-44で後半戦に突入した。

第3ピリオド、取手第二がドライブを軸に攻めるのに対し、市立船橋はスクリーンとパス回しを軸に攻める。サイズで劣る取手第二は5人全員でリバウンドに参加することでそれをカバー。このピリオドも取手第二の#6中川が再び3Pプザービーターを沈め、68-66の取手第二が2点リードで終了した。

第4ピリオドは先程のプザービーターで流れを掴んだ取手第二が開始1分15秒で6-0のランを見せ、市立船橋はたまたぎタイムアウト。それで落ち着きを取り戻し4点差に詰め寄るも、残り6分のところでインサイドを支配していた#15楊が痛恨のファウルアウト。これで勝負ありかと思われたが、#8大川が3Pとドライブで立て続けに得点し、2点差に詰め寄る。これで市立船橋に流れが変わるかと思われたが、残り1分半で#16和田もファウルアウト。それでも諦めない市立船橋はファウルゲームに持ち込む取手第二の#6中川、#10宮内が落ち着いてフリースローを決めて勝負あり。関東大会の準決勝に相応しい好ゲームは90-81で勝利した取手第二が決勝に駒を進めた。

記入者 藤本 創